

横浜善光寺留学僧育英会
The Yokohama Zenkoji Scholarship Foundation
for International Buddhist Study

令和4年（2022年）

設立趣意書 Objectives
規 定 Rules
細 則 Bylaws
留 学 僧 名 Past Scholarship Recipients



〒234-0053 横浜市港南区日野中央1-12-9 成寿山善光寺

Seijuzan Zenkoji

1-12-9 Hinocho, kounan-ku, Yokohama, 234-0053, JAPAN

Phone : (045) 845-1371 Fax : (045) 846-2000

ホームページURL www.zenkouji.net E-mail info@zenkouji.net

横浜善光寺留学僧育英会趣意書

ゼロからの出発。

師父、大圓武志大和尚が善光寺を開創いたしましてより52年目を迎えております。

師父は善光寺経営基盤のほぼ確立したことを実感し、開創15年を記念して1984年善光寺海外留学僧派遣育英会を設立しております。

そして当時の設立趣意書にその経緯と趣旨を次のように述べております。

いまや、人類は宇宙時代に入り、時間的にも空間的にもその距離は著しく短縮され、世界はあたかも一国の観を呈しております。が、反面人類はかつてない民族、宗教、イデオロギー、地球環境、さらには恐慌に晒され、不安と絶望の危機に見舞われております。これは明らかに現代社会の悲劇であり解決の糸口さえ見つからないでいるのです。翻って今日ほど仏陀釈尊の教法宣布を必要とするときはありません。しかるにわが国は、世界最大の仏教国でありながら、仏教界は遺憾ながら世界の大勢に即応、教化の実を挙げる態勢に欠けているように思います。世界の中の日本、日本の中の仏教、仏教と私、その自分の存在を認識するとき、唯悩んでいるだけでは罪が深すぎます。「どうする、どうしたらいい」。寺の開創時、私の信念は一体なんだったのか煩悶しました。日本の仏教は社会参加、社会貢献、実践力に欠けているという、世界の非難を私は敢えて率直に甘受します。私なりにみ仏のご加護のもと脚下を反省、懺悔しながらその使命と責任を果たすべく、開創時の精神に立ち還らなければなりません。また設立までの経緯について、元来横浜の小さな寺、所詮、大は望めません。それでもひとりでやれることは、あまりにも小さく限りあります。だから衆知を集める必要があります。さいわい檀家、檀信徒各方面、かかわる方々から強力なご支援とご浄財により設立、派遣できる目処が立ちました。かつて私は自らの信念に駆り立てられ、大本山永平寺僧堂安居を修し、その足で仏舍利奉拝日本一周行脚を敢行、さらには仏教の

原点、インドに赴き仏蹟を巡拝、帰途タイバンコクに上座部仏教比丘として、九旬安居を修し、さらに渡米、ロスアンゼルス禅センターで2年間欧米人に開教師として参禅教化に努めました。この間いただいた尊い仏縁がその後の私の生き方と人間形成の土台となったことを覚えます。この尊い仏縁を、若い人々にも経験してもらいたいです。そして機会提供に精進したいという念願、それこそが私の育英会設立の根本の動機であります。仏天のご加護により「法輪転ずるところ、食輪おのずから転ぜられる」こととなり海外留学僧派遣も制度として善光寺自力以って軌道にのせることができました。

以来現在まで海外からの受け入れと派遣は、延べ145名に及び、留学僧が巣立ったこととなります。育英生の雄飛は世界規模となり、今や各国各界で大活躍いただいています。

志望されるお方には国籍、宗旨、男女を問いません。要は仏道を通じて世界に貢献したいというグローバルな視野をもち、仏教の興隆、世界の平和を実現したいという、道心堅固な人材に集まっていただくことを念願しています。

令和3年5月1日

成寿山善光寺 住職
黒田 博志

横浜善光寺留学僧育英会役員（敬称略）

名誉顧問

南澤 道人 [大本山永平寺貫首]
東 隆眞 [金沢 大乘寺山主]
五十嵐卓三 [山形 善宝寺住職]
黒田 泰弘 [本寺 光真寺住職]

顧 問

木村 清孝 [鶴見大学元学長・函館 龍宝寺住職]
佐々木宏幹 [駒澤大学名誉教授]
福田 孝雄 [山形 高松寺住職]
山口 晴通 [小田原 成願寺住職]

理事長

黒田 博志 [横浜善光寺住職・第16回育英生]

理 事

新美 昌道 [東京 福巖寺住職]
安藤 嘉則 [駒沢女子大学学長・小田原 潮音寺住職・第6回育英生]
岩波 弘道 [横浜 福泉寺住職・第3回育英生]
山口 義男 [横浜善光寺総代]

参 与

ダンカン・隆賢・ウィリアムス [第14回育英生・南カリフォルニア大学教授]
真野 大成 [第14・15回育英生]
胡 建明 [第12回育英生・中国天童寺顧問兼駐日代表]
藤田 一照 [第9回育英生・曹洞宗国際センター2代所長]

横浜善光寺留学僧育英会 規定

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、横浜善光寺留学僧育英会と称する。

(事 務 所)

第2条 本会は、事務所を横浜市港南区日野中央1-12-9宗教法人善光寺内におく。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、仏教を修学する者のうち、学業操行ともに優秀にして心身堅固な者を海外に派遣し、または海外より受け入れ、仏教の興隆、国家社会の進運に寄与し得る有為な人材を育成することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 留学僧の派遣及び受け入れ
- 2 その他、前条の目的達成のために必要な事業

第3章 役員及び職員

(役員の数)

第5条 本会に次の役員をおく。

理事 5名以上10名以内 (うち理事長1名)

(役員を選任)

第6条 理事長は、善光寺代表役員をもって充てる。

2. 理事は、次の各号により選任する。

第1号 仏教会代表

第2号 学識経験者

第3号 善光寺檀徒代表

第4号 理事長が特に必要と認める者

3. 理事長は、名誉顧問並びに顧問を推戴し、参与を委嘱することが出来る。

(役員職務)

第7条 理事長は、本会の事務を総理し、本会を代表する。

2. 理事は、理事会を組織し、本会の業務を議決し執行する。

(役員任期)

第8条 役員任期は3年とし、再任を妨げない。

2. 補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員の報酬)

第9条 役員は無給とする。

(職員)

第10条 本会の事務を処理するため職員をおく。

2. 職員は、理事長が任免する。

第4章 会 計

(経費の支弁)

第11条 本会の事業遂行に要する経費は、基金から生ずる果実及び寄付金をもって充てる。

(事業計画及び予算)

第12条 本会の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎会計年度前に理事長が編成し、理事会の同意を得るものとする。

(事業報告及び決算)

第13条 本会の決算は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に理事長が作成し、事業報告とともに理事会の承認を受けるものとする。

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第5章 補 則

(細 則)

第15条 本会の運営に関する細則は、理事会の議決を経て別に定める。

付 則

1. この規定は、昭和59年1月15日から施行する。
2. 本会当初の会計年度は、第14条の規定にかかわらず規定施行の日から翌年3月31日までとする。
3. この規定は平成元年9月1日から施行する。
4. この規定は平成5年2月6日から施行する。
5. この規定は平成21年2月13日から施行する。
6. この規定は平成23年6月1日から施行する。

横浜善光寺留学僧育英会細則

第1条 横浜善光寺留学僧育英会規定に基づきこの細則を定める。

第2条 留学僧の派遣先、及び受け入れ先は当分の間次による。

- (1) Zen Center of Los Angeles (L A禅センター)
“923 S. Normandie Ave., L.A., CA 90006 U.S.A.”
- (2) Zen Mountain Monastery of New York (NY禅センター)
“Box 197, Mt. Tremper, NY 12547 U.S.A.”
- (3) Zen-Zentrum Eisenbuch (アイゼンブッフ・禅センター)
“Eisenbuch 7 D-84567 Erlbach Deutschland Germany”
- (4) Wat Paknam (ワット・パクナム)
“Bhasichareon Bangkok, 10160 Thailand”
- (5) 理事会において必要と認める国内外の仏教関係大学及び寺院

第3条 派遣・受け入れの人数及び期間は、諸般の事情を斟酌し理事会において決定する。

第4条 留学志望者は、次の書類を本会宛提出しなければならない。

- (1) 日本語の論文(次の論題より、いずれか一題選択)
 - ① これからの国際交流と仏教の役割
 - ② 世界平和と仏教徒の誓願
 - ③ 留学僧として私はこれを学びたい
 - ④ 異文化の中で仏教を学ぶ
- ※A4判2,000字以上(原稿用紙5枚以上)

- (2) 願書
- (3) 卒業証明書
- (4) 履歴書
- (5) 推薦状
- (6) 健康診断書

第5条 留学僧は、理事会の選考・面接を経て理事長が決定し、その結果を志願者に通知する。

第6条 留学僧には、派遣先までの往復旅費及び派遣先における滞在に要する必要経費を支給する。また海外からの有為なる留学僧・研究者に対して、研究助成・補助のために若干の奨学金または研究費を支給する。

第7条 留学僧は、留学を終えた時点で、報告書を理事長宛に提出しなければならない。

第8条 留学僧は次の各号の一に該当すると認められたとき、理事会は、派遣先の責任者の意見を徴して留学僧としての処遇を停止する。

- (1) 健康を害し、その他身体の原因により、修学を継続し得なくなったとき。
- (2) 修学の意欲を失い、留学僧として不適切な行為があったとき。
- (3) その他、留学僧として修学を続け得ざる状況が生じたとき。

第9条 留学僧は、帰国後、本会とよく連携を保ち、本会は必要に応じ講師として受入先に派遣する。

第10条 育英金の給付は、辞令交付式の際、辞令とともに留学僧本人へ支給する。

第11条 この細則の実施について、さらに必要な事項は別にこれを定める。

付 則

1. この細則は昭和59年1月15日より実施する。
2. この細則は平成元年9月1日より実施する。
3. この細則は平成2年10月20日より実施する。
4. この細則は平成3年9月1日より実施する。
5. この細則は平成5年2月6日より実施する。
6. この細則は平成21年2月13日より実施する。
7. この細則は平成23年6月1日より実施する。
8. この細則は平成28年6月1日より実施する。
9. この細則は平成29年6月1日より実施する。

留学生名簿

留 学 僧 名

派 遣 先

第1回 (昭和60年度)

田 中 智 誠 (黄檗宗)
梅 田 尚 平 (浄土宗)

タイ (ワットパクナム)
タイ (ワットパクナム)

第2回 (昭和61年度)

河 内 義 宣 (曹洞宗)
国 安 大 智 (曹洞宗)
安 井 隆 同 (浄土宗)
中 野 良 教 (曹洞宗)

アメリカ (LA禅センター)
アメリカ (NY禅センター)
インド (カルカッタ大学)
スリランカ (ケラニヤ大学)

第3回 (昭和62年度)

島 崎 義 孝 (臨濟宗)
岩 波 弘 道 (曹洞宗)
越 石 哲 永 (善光寺)
浦 田 智 司 (浄土宗)
磯 村 啓 子 [旧姓 早田] (昭和女子大学)
李 幼 麟 (中国)

アメリカ (LA禅センター)
アメリカ (LA禅センター)
アメリカ (NY禅センター)
タイ (ワットパクナム)
インド (カルカッタ大学)
日本 (駒澤大学)

継続

安 井 隆 同 (浄土宗)
中 野 良 教 (曹洞宗)

インド (カルカッタ大学)
スリランカ (ケラニヤ大学)

第4回 (昭和63年度)

洪 淳 海 (韓国)
渋 井 修 (真言宗)
星 宮 智 光 (天台宗)
バシユールス浄信 (フランス・曹洞宗)
森 雅 秀 (名古屋大学)

日本 (東京大学大学院)
タイ (ワットパクナム)
ヨーロッパ(イギリス・フランス・イタリア)
日本 (大菩薩禅堂)
イギリス (ロンドン大学大学院)

継続

島 崎 義 孝 (臨濟宗)
磯 村 啓 子 [旧姓 早田] (昭和女子大学)
李 幼 麟 (中国)

アメリカ (NY禅センター)
インド (カルカッタ大学大学院)
日本 (駒澤大学)

第5回 (平成元年度)

村 畑 亮 二 (曹洞宗)

アメリカ (LA禅センター)

引 田 弘 道 (曹洞宗)	イギリス(オックスフォード大学大学院)
山 本 浄 月 (臨濟宗)	タイ (ワットパクナム)
茂 松 性 典 (天台宗)	韓国 (東国大学大学院)
韓 京 洙 (韓国曹溪宗)	日本 (大正大学大学院)
継続	
バシユールース浄信 (フランス・曹洞宗)	日本 (大菩薩禅堂)

第6回 (平成2年度)

森 祖 道 (曹洞宗)	スリランカ (ケラニヤ大学客員教授)
浅 井 宣 亮 (曹洞宗)	アメリカ (LA禅センター)
沖 田 玉 映 (曹洞宗)	アメリカ (LA禅センター)
三 宮 睦 穂 (浄土宗)	タイ (ワットパクナム)
安 藤 嘉 則 (曹洞宗宗学研究所)	アメリカ (LA禅センター)
陳 永 裕 (韓国曹溪宗)	日本 (駒澤大学大学院)
金 秀 娥 (韓国曹溪宗)	日本 (東京大学大学院)
継続	
韓 京 洙 (韓国曹溪宗)	日本 (大正大学大学院)

第7回 (平成3年度)

落 合 隆 (曹洞宗)	タイ (ワットパクナム)
品 田 裕 淳 (真言宗)	タイ (ワットパクナム)
水 野 克 彦 (曹洞宗)	タイ (ワットパクナム)
早 川 敦 (東北大学大学院)	オランダ (ライデン大学)
曹 良 淑 (韓国曹溪宗)	日本 (立正大学大学院)
李 焜 秀 (韓国曹溪宗)	日本 (東洋大学)
継続	
沖 田 玉 映 (曹洞宗)	アメリカ (LA禅センター)
金 秀 娥 (韓国曹溪宗)	日本 (東京大学大学院)

第8回 (平成4年度・日韓交流の年)

渋 井 修 (真言宗)	カンボジア
ペルキー・ローフ大玄 (アメリカ・曹洞宗)	日本 (山手学院講師)
韓 仁 徹 (韓国曹溪宗)	日本 (立正大学大学院)
韓 京 愛 (韓国曹溪宗)	日本 (立正大学)
権 来 順 (韓国)	日本 (東北大学)
継続	
落 合 隆 (曹洞宗)	タイ (ワットパクナム)
李 焜 秀 (韓国曹溪宗)	日本 (東洋大学)

第9回 (平成5年度)

藤田 一 照 (曹洞宗)	アメリカ (バレー禅堂)
キリネティヤネヴィマラワンサ(スリランカ)	日本 (愛知学院大学)
李 鐘 徹 (韓国・東京大学大学院)	インド (マイソール大学大学院)
李 泰 昇 (韓国)	日本 (駒澤大学大学院)
スワガタン・チャクマ (バングラデシュ)	タイ (マハチュラロンコン仏教大学)
佐藤 誠 司 (東北大学大学院)	ドイツ (ライプチヒ大学)
董 燕 燕 (台湾)	日本 (東京大学大学院)
継続	
ペルキー・ローフ大玄 (アメリカ・曹洞宗)	日本 (瑞応寺僧堂)

第10回 (平成6年度)

嘉木揚・凱朝 (中国・ラマ僧侶)	日本 (愛知学院大学)
孫 順 鎬 (韓国)	日本 (仏教大学大学院)
金 英 子 (韓国)	日本 (龍谷大学大学院)
碓 雄 神 (日本)	タイ (ワットパクナム)
サンガ・ラタナ (スリランカ)	日本 (駒澤大学大学院)
脇 領 至 弘 (日本)	インド (プーナ大学)
プラ シャーンシャイ キッティワンソー(タイ)	スリランカ (仏教大学)
ディリップ クマール バルア(バングラデシュ)	日本 (愛知学院大学大学院)
王 文 雄 (台湾)	日本 (立正大学大学院)

第11回 (平成7年度)

湛 如 (中国)	日本 (駒澤大学大学院)
呂 鉄 (中国)	日本 (京都大学大学院)
如 玄 ノバク (ポーランド)	日本 (曹洞宗)
遠 藤 博 因 (曹洞宗)	アメリカ (LA禅センター)
宇 野 恭 章 (日本)	インド (カルカッタ大学大学院)

第12回 (平成8年度)

胡 建 明 (中国)	ドイツ (ハンブルグ大学)
ナラダラブガマ (スリランカ)	日本 (駒澤大学)
三 上 俊 弘 (日本)	インド (マドラス大学)
清 水 晶 子 (日本)	イギリス (ケンブリッジ大学)
計 良 隆 生 (日本)	スイス (ローザンヌ大学)
ギャナラタナスローモン(バングラデシュ)	日本 (愛知学院大学大学院)
継続	
宇 野 恭 章 (日本)	インド (カルカッタ大学大学院)

第13回 (平成9年度)

久 間 泰 賢 (日本)

洪 在 成 (韓国)

山 口 菜生子 (日本)

継続

清 水 晶 子 (日本)

オーストリア (ウィーン大学)

日本 (花園大学大学院)

イギリス (ケンブリッジ大学)

イギリス (ケンブリッジ大学)

第14回 (平成10年度)

ウィリアムス・隆賢・ダンカン (イギリス)

ホアン・トロン・ソウ (ベトナム)

小田嶋 巖 雄 (曹洞宗)

眞 野 順 治 (曹洞宗)

日本 (上智大学)

日本 (愛知学院大学院)

アメリカ (LA禅センター)

タイ (ワットパクナム)

第15回 (平成11年度)

カルマ・レーシェ・ツォモ (アメリカ)

シラモイ・スラマネーラ (バングラデシュ)

金 希 泰 (韓国)

継続

小田嶋 巖 雄 (日本)

眞 野 順 治 (日本)

台湾 (ファ・クワング研究所)

タイ (ワット・サラデー)

日本 (立正大学)

アメリカ (LA禅センター)

タイ (ワットパクナム)

第16回 (平成12年度)

橋 本 英 樹 (日本)

吉 田 日 光 (日本)

黒 田 博 志 (日本)

福 田 智 昭 (日本)

アンゲリカ瑞天 (ドイツ)

涂 美 珠 (台湾)

アメリカ (スタンフォード大学)

タイ (ワットパクナム)

タイ (ワットパクナム)

タイ (ワットパクナム)

ブラジル (参玄禅堂)

日本 (駒澤大学大学院)

第17回 (平成13年度)

鄭 貴 霞 (台湾)

エルワポラ・ニャナラタナ (スリランカ)

スゲング・タント (インドネシア)

日本 (花園大学大学院)

日本 (立正大学・大正大学研究所)

日本 (愛知学院大学大学院)

第18回 (平成14年度)

マルク・W・スターヘル・円成 (ブラジル)

マシュランコフスキー・ジェルミ・観禅 (ポーランド)

孟 東 燮 (宗黙) (韓国)

陸 晚 霞 (中国)

ブラジル (新禅センター建立)

日本 (大雄山最乗寺)

日本 (花園大学大学院)

日本 (東京大学大学院)

- 第19回 (平成15年度)
 程 正 (中国) 日本 (駒澤大学大学院)
 阿孜古麗 古力 (新疆ウイグル自治区) 日本 (立正大学法華文化研究所)
 トラン・トゥイ・カン (ベトナム) 日本 (愛知学院大学)
 ダガマ・マイトレーヤ (スリランカ) インド (デリー大学)
- 第20回 (平成16年度)
 小 野 卓 也 (日本) インド (プーナ大学)
 阿 満 道 尋 (日本) アメリカ (カリフォルニア大学大学院)
 ドルジ (ブータン) 日本 (麗澤大学)
 マニクマン・バジュラチャルヤ (ネパール) 日本 (愛知学院大学大学院)
- 第21回 (平成17年度)
 新 井 一 光 (日本) ドイツ (ハンブルグ大学)
 マ キ ・ キ サ (バングラデシュ) 日本 (金沢大学)
- 第22回 (平成21年度)
 アイーダ・ママドゥア (アゼルバイジャン) 日本 (金沢大学)
 リン・コ・ヒアン (マレーシア) 日本 (駒澤大学大学院)
- 第23回 (平成22年度)
 伊 藤 康 心 (日本) タイ (ワットパクナム)
 トラン・クォック・フォン (ベトナム) 日本 (愛知学院大学)
- 第24回 (平成23年度)
 ウカシュ法純シュプナル (ポーランド) 日本 (駒澤大学大学院)
 エッカーター・トビアス (ドイツ) 日本 (京都萬福寺)
 史 経 鵬 (中国) 日本 (武蔵野大学)
 樋 口 星 覚 (日本) アメリカ (NY禅センター)
- 第25回 (平成24年度)
 フランズ幸雲 (アメリカ) 日本 (駒澤大学)
- 第26回 (平成25年度)
 向 慧 (中国) 日本 (東洋大学大学院)
- 第27回 (平成26年度)
 李 子 捷 (中国) 日本 (駒澤大学大学院)

第28回（平成27年度）

ロペン ペルバ（ブータン）
グリーンウッド月心（アメリカ）

日本（麗澤大学）
日本（南山大学）

第29回（平成28年度）

花 栄（中国）

日本（同朋大学）

第30回（平成29年度）

サンヴィド・マルタ（イタリア）
肖 越（中国）

日本（早稲田大学）
日本（南山大学）

第31回（平成30年度）

グエン・タン・ニョン（ベトナム）
通 然（中国）
李 丹（中国）
和田良世（日本）

日本（愛知学院大学大学院）
日本（東洋大学大学院）
日本（二松学舎大学大学院）
アメリカ（仏教大学院）

第32回（平成31年度）

朝雲 諒（日本）
ツェデウ・ヒシゲジャルガル（モンゴル）
和田賢宗（日本）
浅摩泰真（日本）

アメリカ（LA禅センター）
日本（千葉大学）
インド（デプン大僧院）
アメリカ（タサハラ禅センター）

第33回（令和2年度）

久松彰彦（日本）
余 新星（中国）
陳 怡安（台湾）

アメリカ（サンフランシスコ禅センター）
日本（東京大学）
日本（駒澤大学）

第34回（令和3年度）

カマリド ドラテ（ドイツ）
陳 菲（中国）

日本（国際仏教学大学院大学）
日本（花園大学）

留学僧 145名

関係国 25ヶ国（及び2地域）

派遣先 14ヶ国（及び1地域）

アメリカ・タイ・インド・スリランカ・イギリス・フランス・イタリア・オランダ・
韓国・カンボジア・ドイツ・スイス・オーストリア・ブラジル・台湾

受入先 19ヶ国（及び2地域）

アメリカ・スリランカ・韓国・中国・フランス・バンラデシュ・日本・台湾・ポーランド・
ベトナム・ドイツ・インドネシア・ブラジル・イギリス・タイ・新疆ウイグル自治区・ブータン・
ネパール・アゼルバイジャン・マレーシア・モンゴル

横浜善光寺留学僧育英会派遣先一覧表

2021年5月1日現在

採用育英生 145名 (内 継続16名・再度1名 全128名)	
関係国 26ヶ国及び2地域	
派遣先	15ヶ国 (含日本) 及び1地域
	タイ ワットバクナム ワットサラディーン マハチュラロンコン仏教大学
	インド カルカッタ大学 マイソール大学 プーナ大学 マドラス大学 デリー大学 デブン大僧院
	スリランカ ケラニア大学 オピン大学
	カンボジア ナロム寺院
	ブラジル 参玄禅堂 新禅センター
	アメリカ ロサンゼルス禅センター ミネソタ禅センター ニューヨーク禅センター バレー禅堂 禅マウンテンセンター スタンフォード大学 タサハラ禅センター
	イギリス オックスフォード大学 ケンブリッジ大学 ウォルソン大学 ロンドン大学
	ドイツ ライプチヒ大学 ハンブルグ大学
	オランダ ライデン大学
	スイス ローザンヌ大学
	オーストリア ウィーン大学
	イタリア
	フランス
	韓国 東国大学
	台湾 ファクワング研究所
日本 駒澤大学 東京大学 大正大学 立正大学 東洋大学 東北大学 仏教学院 龍谷大学 花園大学 上智大学 心月庵 大菩薩禅堂 愛知学院大学 大阪教育大学 麗澤大学 大雄山最乗寺 金沢大学 武蔵野大学 南山大学 同朋大学 早稲田大学 千葉大学 二松学舎大学 京都萬福寺 国際仏教学大学院大学	
受入先	(留学僧国籍) 20ヶ国 (含日本) 及び2地域
	アメリカ フランス イギリス ドイツ ポーランド ブラジル タイ スリランカ ベトナム バングラデシュ インドネシア 韓国 台湾 中国 日本 新疆ウイグル自治区 ブータン ネパール アゼルバイジャン マレーシア イタリア モンゴル